

公共事業等施行状況調（令和3年9月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (9月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	24,949	25,398	15,541	16,889	11,520	74.1	11,673	69.1	
2	農林・水産	30,983	32,114	22,974	24,258	19,858	86.4	20,216	83.3	
3	道 路	51,830	55,349	30,712	33,731	28,655	93.3	28,188	83.6	
4	港湾・空港	6,973	6,928	3,319	3,525	2,505	75.5	2,393	67.9	
5	下水道・公園	9,525	8,556	2,468	2,554	1,048	42.5	1,426	55.8	
6	住 宅	1,805	2,090	1,309	1,485	1,190	90.9	1,350	90.9	
7	庁 舎	3,623	1,300	3,356	1,151	1,677	50.0	237	20.6	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	20,029	9,654	16,331	7,301	6,103	37.4	2,996	41.0	
11	工業用水・上水道等	1,034	1,042	102	89	90	88.2	36	40.4	
12	災害復旧	211	57	203	0	161	79.3	32	0.0	
13	その他	8,966	10,343	6,507	7,069	4,044	62.1	2,589	36.6	
	計	159,928	152,831	102,823	98,053	76,851	74.7	71,135	72.5	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年9月末）

（単位：社、件、百万円、％）

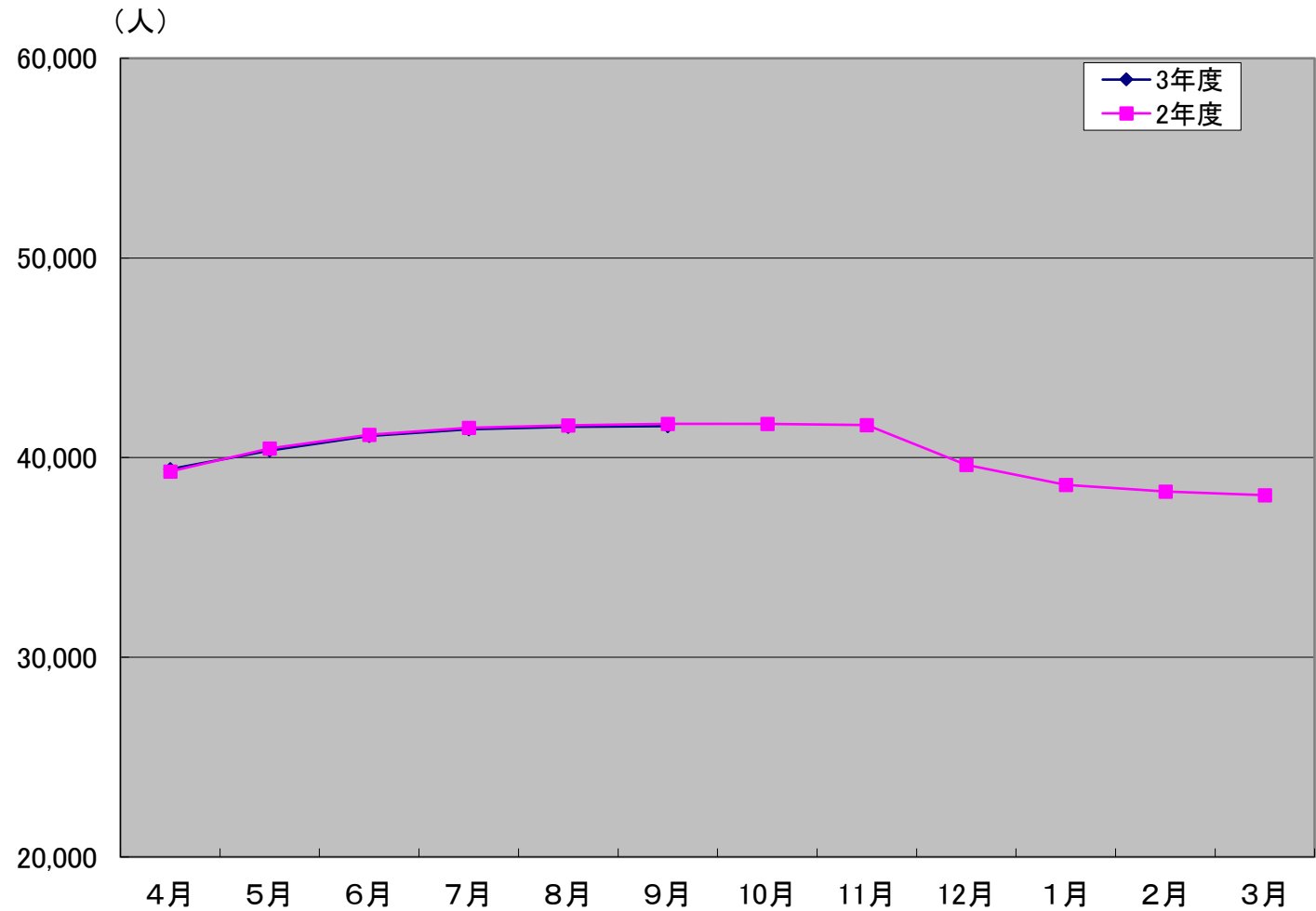
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
3年度	159,928	102,823	22,383	2,172	76,851	21,924	2,080	67,943	391	74	4,285	68	18	4,623
					B/A 発注率 74.7	C/B 97.9	95.8	88.4	D/B 1.7	3.4	5.6	E/B 0.3	0.8	6.0
前年度比	104.6	104.9	101.5	107.1	108.0	101.7	106.8	107.8	95.6	123.3	130.6	71.6	85.7	95.6
2年度	152,831	98,053	22,051	2,028	71,135	21,547	1,947	63,020	409	60	3,280	95	21	4,835
					B/A 72.5	C/B 97.7	96.0	88.6	D/B 1.9	3.0	4.6	E/B 0.4	1.0	6.8

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月	41,421	41,492
8月	41,541	41,611
9月	41,577	41,687
10月		41,689
11月		41,636
12月		39,646
1月		38,642
2月		38,307
3月		38,119

前月末被保険者数	41,541
資格取得者数	533
資格喪失者数	495
転入者数	0
転出者数	2
今月末被保険者数	41,577

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)9月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年9月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青 森			弘 前			八 戸			県平均			青 森			弘 前				八 戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の7月の販売量は4万4千トン(セメント協会調べ)で前年同月比24.2%の増。メーカー各社は、値上げ未達分の浸透に向け需要家との交渉の機会をうかがっている。主たる需要家の生コンメーカーは、燃料価格の高止まりに伴う輸送コストの増加や、骨材調達コスト増加が経営を圧迫しているとして、値上げに難色を示している。交渉に進展は見られず、先行き、横ばい推移の公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木向けとも昨年度比で県内出荷はやや減少している。需給に引き締まりが見られないなか、需要家の購入姿勢は一段と厳しさを増している。コンクリート製品組合は、原材料価格の値上がりがコンクリート製品製造原価を大きく押し上げているとし、値上げを打ち出した。しかしながら、需要家の反発が強く、値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の8月の出荷量は5万4千m3(生コン工組調べ)で前年同月比17.4%増。一部の地域では風力発電および、使用済核燃料再処理工場、消波ブロック向けの出荷が好調である。しかし、その他地区の一般物件の需要は例年並みもしくは例年の出荷量を下回っている。こうしたなか、一部のメーカーは製造・輸送コストの増加を理由に値上げを打ち出しているものの、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕 石		○			○			○			○			○			○			○			○			一部地区においては、生コンの出荷が好調であり、コンクリート用砕石の出荷が昨年度を上回っている。しかし、その他地区の生コン用、道路用とも出荷は低調に推移している。こうした状況下、工事量の伸び悩みを受けた一部需要家からの値引き要求があるものの、メーカー各社は、燃料価格の高止まりで輸送コストが増加していることを理由に要求には応じていない。先行き、横ばいの公算が大きい。
小 棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり99,000円と前月変わらず。原料である鉄スクラップは小幅下落したが、依然として高値圏で推移している。こうしたなか、採算悪化に対する強い危機感を抱くメーカー各社は販売価格を変えず、売腰は強い。流通筋では、仕入れ価格の値上りを販売価格に転嫁する動きもみられるものの、新規明細は少なく、小口当用買いの商状が続く。目先、横ばい推移の見通し。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			8月の県内出荷量は5万3千トン(合材協会調べ)で前年同期比3.7%の増。原材料であるスタスの価格上昇を背景に、メーカー各社は需要家との値上げ交渉を続けている。道路改良や維持修繕など小規模工事向けが中心の状況下、需要家は採算を確保するため、値上げに対して反発を強めている。双方の綱引きはしばらく続く見込み。先行き、横ばいの公算が大きい。
木 材			○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり124,000円と前月比8,000円の上伸。5カ月連続で値上がりしたが上昇幅は半分以下に縮小した。7月の県内新設住宅着工戸数は541戸で前年同月比4.0%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比17.1%の増加、それに次ぐ貸家は同33.0%の減少となっている。ウッドショックの波及で品薄が続く輸入材の代替で国産材の需要が増加しているが、夏場は虫食い被害対策で原木伐採が抑制される時期で、急速な供給増加は困難な状況。6～7月の製材輸入量が前月を上回るなど明るい兆しも見られるが、直近の輸入材は相場急騰時に買い付けられたものであり、高値の市場取引が続いている。先行き、強含みの見通し。
油 類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり110円、重油はローリー渡りで71円と共に前月比1円の下落。米中では新型コロナウイルス変異株の感染が拡大し、世界経済回復への期待に大きな影を落としている。この影響で8月上旬から原油相場は下落し、一時は約3カ月ぶりの安値を付けた。これを受け元売り各社は仕切価格を引き下げ、流通筋も追従した。変異株感染拡大の影響で原油価格の見通しに不透明感が漂っている。目先、横ばいか。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,550円と前月比30円の上伸。8カ月連続で値上がりした。7月の輸入合板入荷量は22万9千m3(財務省調べ)で前年同月比45.2%増加したが、需給タイト化を背景に出荷が入荷を上回る状況が続いており、市中在庫量は極めて低水準のまま推移。流通筋では品薄が収束しないことに懸念を強め、仕入れ価格の上昇分を着実に販売価格に上乗せする取り組みを継続している。現地の新型コロナウイルス感染拡大の影響で、入荷量が急回復する可能性は低い。目先、強含み。
形 鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり107,000円と前月比4,000円の上伸。市況は5ヶ月連続で上伸している。仕入れ価格上昇を販売価格に転嫁するため、流通筋は値上げ交渉を継続している。先高観が続くなか、需要家が材料購入を急ぐ動きもあり荷動きは好転、品薄感が台頭している。メーカーの販売姿勢にも緩みはなく、目先、強含みの公算が大きい。

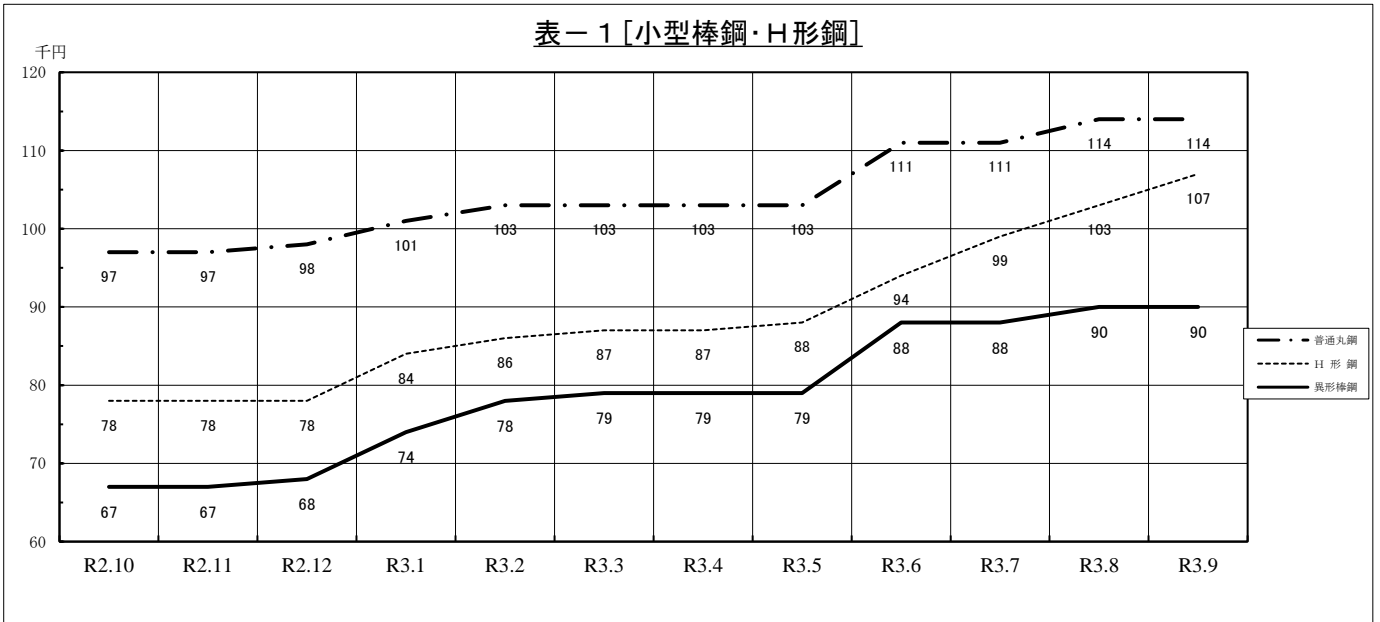
(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年9月)

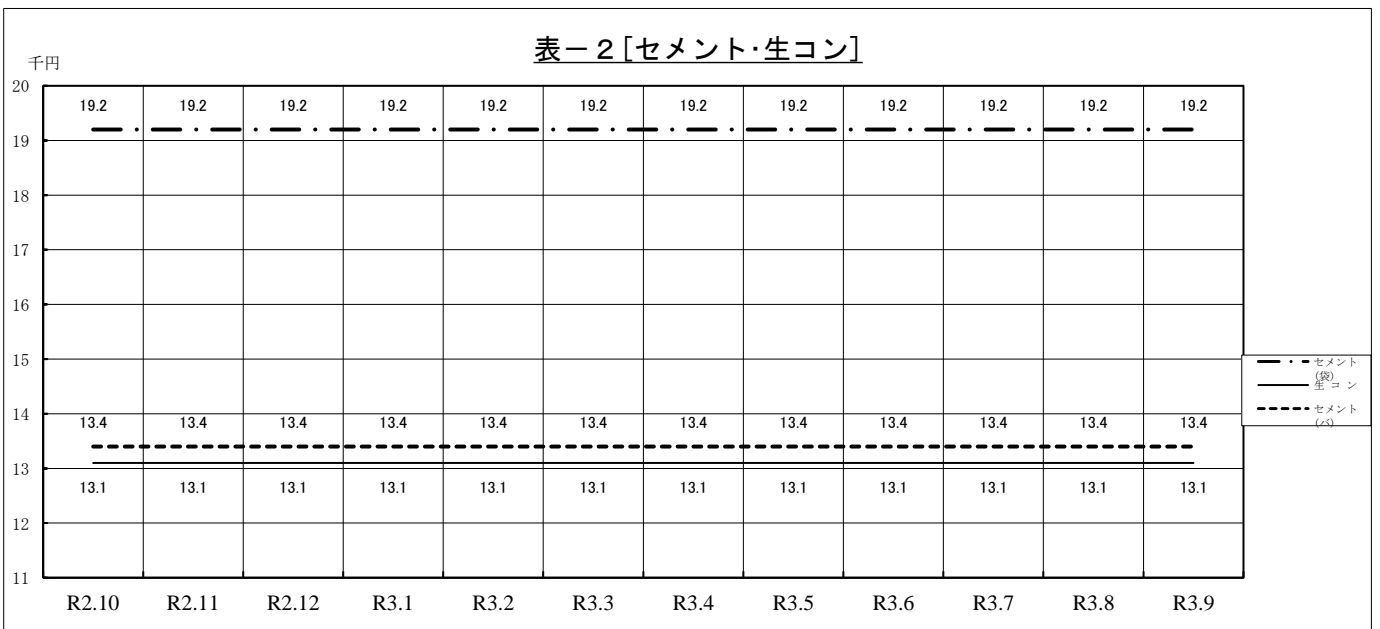
区分	品名・規格	単位	青森		弘前		八戸		県平均		備考
			価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	価格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	36,000	0.0	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	13,000	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,133	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	114,000	0.0	114,000	0.0	114,000	0.0	114,000	0.0	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	90,000	0.0	90,000	0.0	90,000	0.0	90,000	0.0	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	91,000	0.0	91,000	0.0	91,000	0.0	91,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	124,000	6.9	124,000	6.9	124,000	6.9	124,000	6.9	
油類	軽油(ミニローリー渡し)	L	110.0	-0.9	110.0	-0.9	110.0	-0.9	110.0	-0.9	110,000円/kl
油類	重油(ローリー渡し)	L	71.0	-1.4	71.0	-1.4	71.0	-1.4	71.0	-1.4	71,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,550	2.0	1,550	2.0	1,550	2.0	1,550	2.0	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	107,000	3.9	107,000	3.9	107,000	3.9	107,000	3.9	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

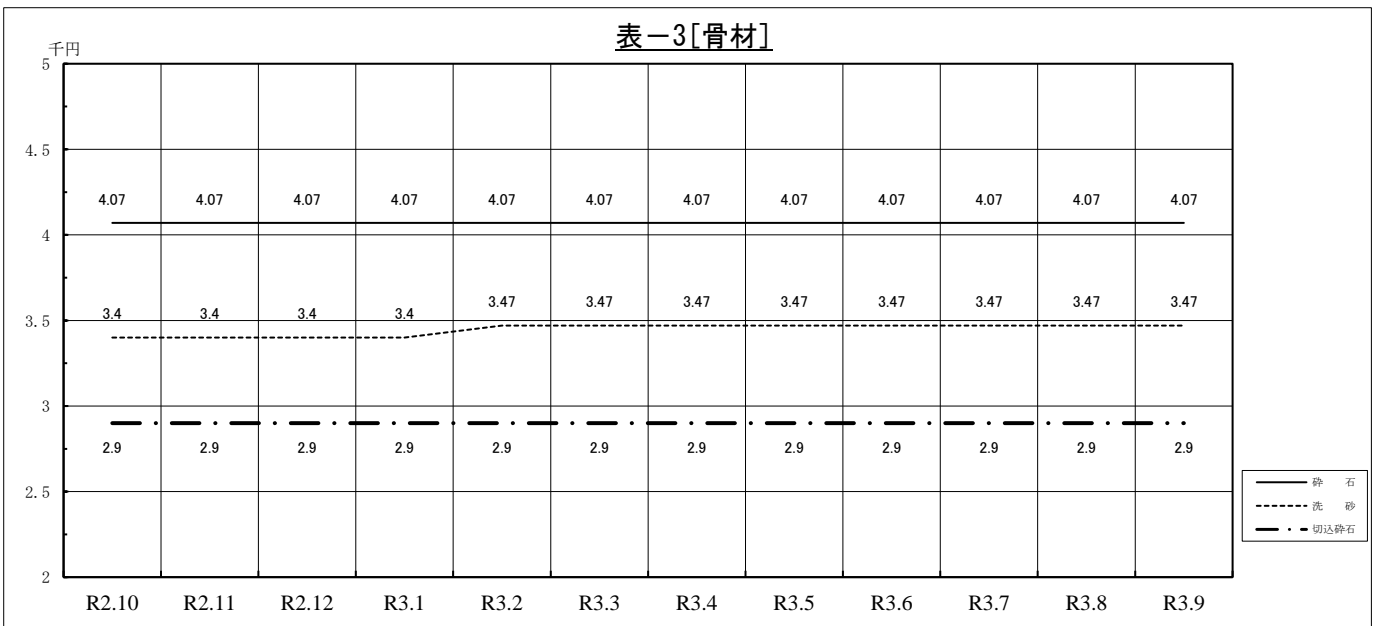
表一 [小型棒鋼・H形鋼]



表二 [セメント・生コン]



表三 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

